



上：「交唱歌」15世紀 イタリア

左：「昇階誦」13～14世紀 イタリア

中世ヨーロッパの

さいしよくがくふ 彩飾楽譜

2026.3.24 (火) ~ 6.27 (土)

会場：聖徳博物館（聖徳大学川並弘昭記念図書館8階）

西洋の楽譜は、古代から中世までの長い時間をかけて、少しずつ形を変えながら発展してきました。今回ご紹介するのは中世の彩飾楽譜です。羊皮紙（ヴェラム）に金箔やラピスラズリなどの高価な材料を用いて、音符や歌詞のほかに、美しい絵や装飾文字などが描かれています。宗教儀式で使うために、修道院や大聖堂で手書きで作られたもので、“芸術作品としての楽譜”と言えます。

また、関連資料として、アイルランドやスコットランドなどケルト文化圏の修道院で7～9世紀頃に作られた写本（ダロウの書、ケルズの書）のファクシミリ版も併せて展示いたします。



「交唱歌」13世紀 イタリア



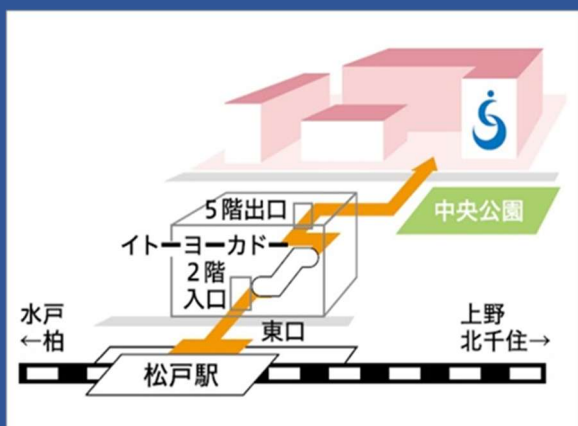
「昇階誦」15～16世紀 スペイン



「昇階誦」16世紀 イタリア

開館時間 9:00～17:00 観覧無料

休館日 日曜・祝日、学事日程による休業日
※ 4/1(水)と4/27(月)は休館いたします。



■交通のご案内

JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・京成松戸線
松戸駅東口より徒歩5分
※学内に駐車場はありません。

■学外の方は、入構及び図書館への入館の際に、記帳等のお手続きが必要になります。ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

■お問い合わせ先

聖徳大学・聖徳大学短期大学部
TEL 047-365-1111 (大代表) 図書館事務室